

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	昭和61年度～		根拠法令・例規等
総合計画	大項目 基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	企画課
	中項目 基本施策	01 生活しやすいまちづくり	
	小項目 施策	17 情報通信	
事務事業名	05 公共システム維持事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	市の基幹業務である住民基本台帳・税などのシステムを利用したサービスを受ける市民の方や、情報ネットワークを利用する生徒・児童等	
目的 (何のために)	市の基幹業務サービスの提供を安定させ、業務に利用する各種アプリケーション等の安定稼働を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共システム全体の安定稼働	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名			
	全国町字ファイル保守業務	基幹業務システムで使用している全国の町・字情報ファイルを最新状態にするため、定期的に保守を行った。		
	情報ネットワークシステム維持業務	合併時に導入した内部情報システムのサーバ老朽化等に伴い、25年度の本稼働に向けてシステム更新を行った。		
	基幹業務システム維持業務	住民基本台帳・税等の基幹業務システムを安定稼働させ、法改正などの変更に対応させるため、サーバーやシステムの保守を行った。		
	地籍等システム維持業務	地籍、健康管理等のシステムを安定稼働させるため、サーバーやシステムの保守を行った。		
	戸籍システム維持業務	戸籍を管理し、証明等を発行する戸籍システムを安定稼働させるため、サーバーやシステムの保守を行った。		
	土木積算システム維持業務	公共事業の設計を行う土木積算システムの日常的なサーバー監視を行った。		
	パソコン等簡易修理業務	パソコン等の故障で、ハードディスク交換等簡易なものは職員で修理・セットアップ作業を行った。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	千円		185,117	75,305	57,949
	必要人員	人		1.00人	0.89人	0.89人
	事業費	千円		193,386	84,707	65,015
	国庫支出金	千円		11,200		
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					
その他()						
一般財源			182,186	84,707	65,015	
受益者負担比率	%		-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	アプリケーション異常停止件数	説明	公共システムの異常停止が発生した件数		
	結果指標量		3	4	2
	対前年比	%	-	133.3%	50.0%
	活動コスト	円	193,386,000	84,707,000	65,015,000
単位当たりコスト		64,462,000	21,176,750	32,507,500	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	3	4	2	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
公共システムでのトラブル発生件数 (原課でのバッチ処理等によるものは除く)					

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	手段	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民参画度	法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	基幹業務システムや本稼働した新内部情報システム等システムの安定稼働に努める。 また、情報ネットワークのセキュリティを確保するため、パソコンのOSをバージョンアップする。						

総合評価		総合評価
市行政の運営上、公共システムの安定稼働は欠かせない基盤である。 市民サービスにも影響を及ぼすため、安定稼働を堅持する必要があり、日常的なメンテナンス、システムの改修等により対応していく。		A A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	公共システム全体の安定稼働に努めるとともに、サーバの保守期限を迎える基幹業務システムの更新を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Action